



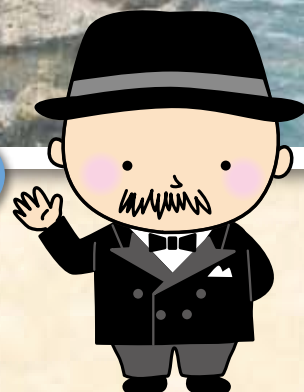
北茨城市の

あんちゃん &
こうちゃんと見る

財 政



私たちがわかりやすく
説明します。



あんちゃん



こうちゃん

登場人物紹介



★あんちゃん

北茨城市の観光ナビゲーターも務める漁師。

北茨城沖で釣ったこうちゃんを相棒として、一緒に五浦岬公園で暮らしている。

物知りで、財政にも詳しい。

★こうちゃん

北茨城市イメージキャラクターを務める。

北茨城沖であんちゃんに釣られた。現在10歳で、好奇心旺盛。最近では北茨城市の財政にも興味を持っているらしい。



五浦岬公園

あんちゃんとかうちゃんが暮らす五浦岬公園。

高台にあるこの公園から太平洋越しに望む朱色の六角堂（表紙写真）と岩礁に砕け散る波、緑の松林が織りなす風景は、一枚の絵画のようで一見の価値があります。

2014年1月作成

発行元：北茨城市企画政策課

〒319-1592 茨城県北茨城市磯原町磯原1630 TEL. 0293-43-1111

市が取り組んでいる事業





北茨城市は今
どんなことを
やっているの？



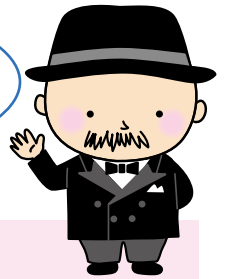
東日本大震災からの
復興事業に加えて、
古くなった施設の
建て替えなども行って
いるよ。



市が行っている事業はどんなもの？

-  北茨城市では最近、新しい病院を建てているよね？
他にはどんなことをやっているの？
-  東日本大震災で家が壊れてしまった人のためにみんなで
住める家を建てたり、学校を建て直す計画を立てたりし
ているんだよ。
-  いろいろやっているんだね。
-  そうだね。市では1年間にどのくらいのお金が入って
くるか、どの事業にどれくらいのお金を使うかを決める
「予算」というものを組むんだ。平成25年度の予算にど
んな事業があるのか見てみよう。

高齢者のタクシー利用料助成や
お子さんの医療費の無料化など
ソフト事業にも取り組んでいます。













平成25年度の主な事業

東日本大震災復興推進事業

- ・災害公営住宅整備事業
- ・防災集団移転促進事業
- ・避難施設防災井戸整備事業
- ・関南地区一次避難場所整備事業
- ・緊急情報メール配信システム整備
- ・備蓄倉庫整備事業
- ・津波避難道路整備事業
- ・津波避難タワー整備事業
- ・水産業協同利用施設復興整備事業補助金

- 放射線対策事業
- タクシー助成券補助事業
- 小学校6年生までの医療費無料化
- 甲状腺超音波検査事業
- 住宅用太陽光発電システム設置補助金
- 消防本部移転新築事業（設計・用地取得・敷地造成）
- 学校建設事業（関本小中一貫校設計）
- 北部運動広場整備事業（用地取得）
- 図書館建設事業（設計）
- 華川浄水場更新事業（計画）
- 新病院建設事業

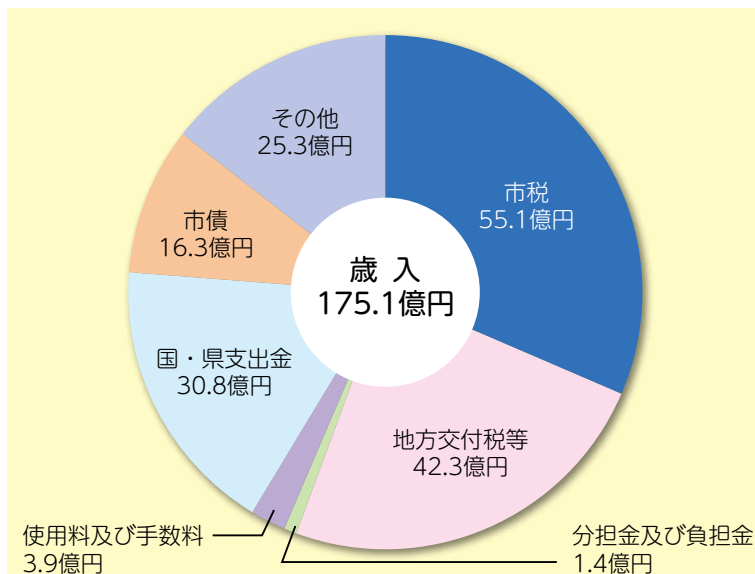
お金はどこから？

-  こんなに色々なことをやるのに、お金はどこか
ら出しているの？
-  復興推進事業には、100%国からお金が入るん
だ。
-  そうなの？ どうして？
-  東日本大震災はすごく大きな災害だったから、
地方だけで復興するのは大変だっていうことで、
国がお金を負担してくれるんだ。それ以外の事
業については、みんなが納めている税金を使っ
たり、国や県からもらえるお金などを使ってい
るよ。
-  国からもらえるお金っていうのは、国にお願い
してもらおうお小遣いみたいなものなの？
-  ちゃんと使い方が決まっていなもらえない
ものもあるんだ。国の代わりに仕事をすれば、
その仕事に必要なお金がもらえるとかね。
-  何にでも使えるわけじゃないんだね。
-  他にも、お金がなくて大変な地方には、国が分
けてくれる地方交付税っていうものもあって、
市にとっては大事な収入なんだ。
-  ふう～ん。それぞれどのくらいの収入がある
の？
-  市に1年間で入ってくる収入のことを「歳入」
と言うんだけど、じゃあ、平成25年度の歳入予
算を見てみようか。

収入を見てみよう



平成25年度歳入予算の内訳

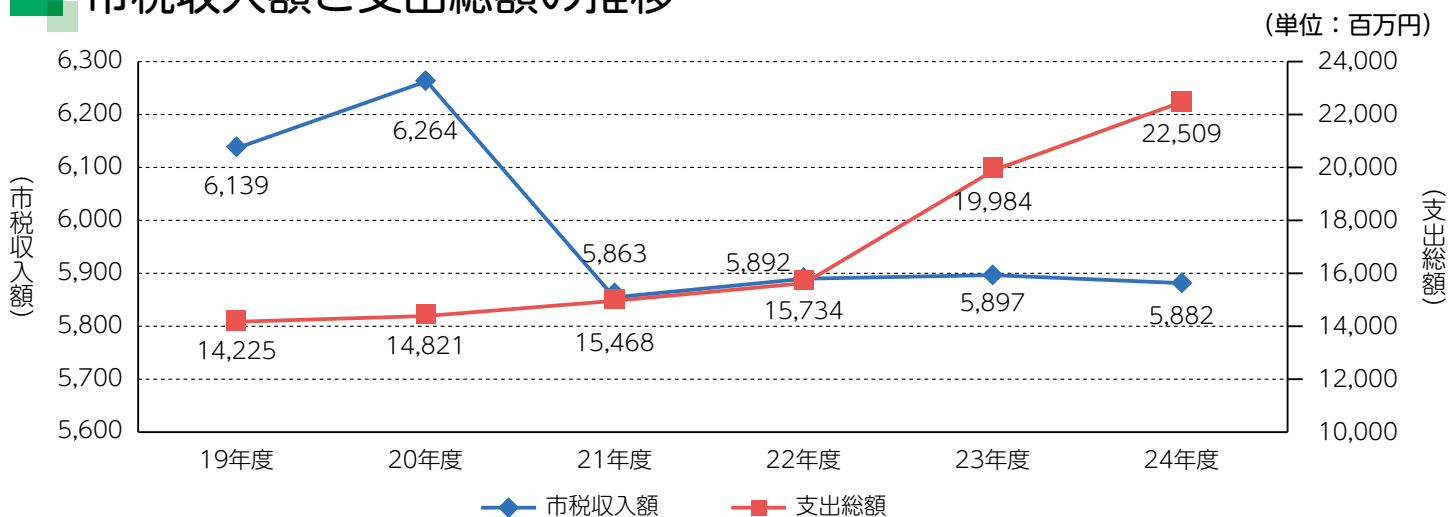


税金収入は多いほう？


- 北茨城市の市税は多いほうなの？
- 茨城県内の他の市では、多いところは市税が収入全体の50%以上を占めているんだ。そう考えると、あまり多い方ではないんだよ。
- それで必要なお金はちゃんと足りているの？
- 下のグラフは、支出の総額と市税収入の推移なんだけど、支出額は増えていっているのに、市税収入は減っているよね。
- 21年度にすごく減っているね。


- 市税収入額は国の政策や景気の動向によって変わるからね。平成20年に世界的な不況になったから、その影響で全国的に減ったんだ。
- それなのに支出は23年度ですぐいぶん増えているね。
- これは震災の影響だね。震災で壊れたものを元に戻すための工事や、新しく造るためにお金がいっぱいかかっているからなんだ。でもさっき話したように、これには国からお金がもらえるんだよ。
- なるほど。でも収入は減っているのに、必要なお金が増えるってきびしい感じがするなあ。


市税収入額と支出総額の推移





足りないお金は？


 でも、ちゃんと収入は足りているんだよね？


 もちろん収入以上に支出はできないから、税金収入以外にもいろんな方法で収入を確保しているよ。例えば「負担金」や「手数料」とか、国や県からもらえるお金を活用したりしているんだ。あと大きいのは「市債」と言って、銀行からお金を借りたりしているよ。


 お金を借りるってあまりいい感じがしないけど、借りないといけないの？

 もちろんお金は借りないほうがいいけど、ちょっと考え方をかえると借りたほうがいいこともあるんだ。


 どういうこと？

 学校や病院は1回建てれば何年も使えるよね。だから今後学校や病院を使う人も一緒に必要なお金を負担しましょうって意味でお金を借りて何年かに分けて返していくんだよ。

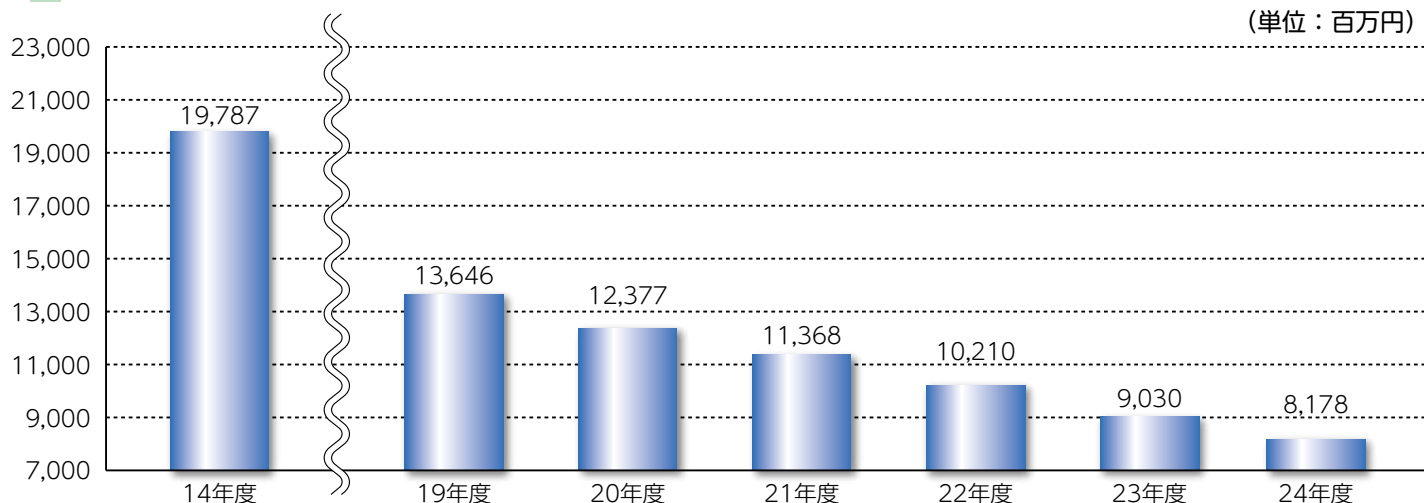
 確かに建てた年の人だけがお金を負担するのはおかしいね。じゃあ今まで道路や学校を造った時もお金を借りていたの？


 そうだよ。もう返し終わった分もあれば、返している途中のものもあるんだ。


 まだ返し終わっていない部分があるのに、さらにお金を借りて大丈夫なの？


 じゃあこれまでの借入額の残高を見てみようか。


市債残高（一般会計）の推移 ※臨時財政対策債除く





 このグラフは、市が何か施設を造るとかの建設工事をする時に借りたお金の残高を示しているんだけど、一番多かったのは平成14年度で、197億円もあったんだ。


 197億円…？あまりピンとこないね。


 確かに。こうちゃんのお小遣いが月2千円だから、82万年分だね！


 82万年…ますますピンとこない…。


 それだけ大きな金額ってことなんだ。


 でもだいぶ減ってきたね。

 そうだね。平成14年度から比べると、平成24年度は59%も減少しているね。

 どうしてそんなに減らせたの？

 計画的に建設工事を行うことで、新たなお金の借入を減らしたり、お金を借りると返す時に利子を支払うことになるんだけど、なるべく利子の安いものを借りるようにしたりしてきたんだよ。

 なるほど。じゃあこれからもさっき言っていたような事業をやるためにお金を借りても大丈夫ってことなのかな？

 うん。これだけ減っているから、これから借入れをしてもピークだった時ほどの残高にはならない見込みだよ。

行政改革の取り組み

北茨城市は
いろいろな事業を
実施するために、
どんなことに
取り組んできたの？



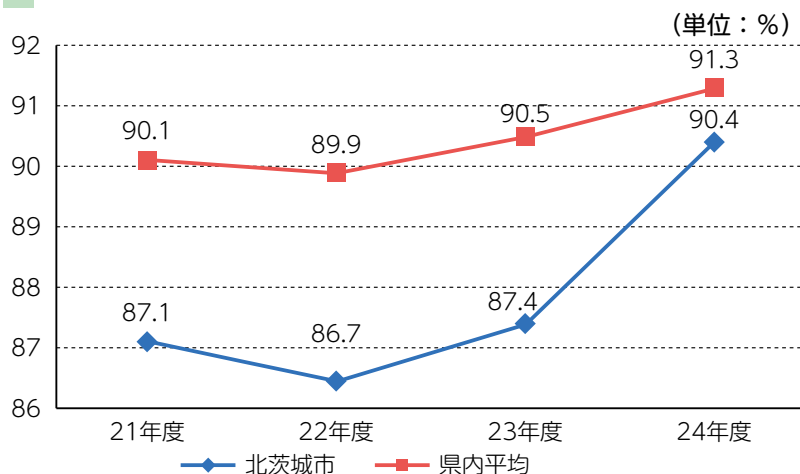
ムダをなくして
効率的に仕事をする
「行政改革」を
進めてきたんだよ。



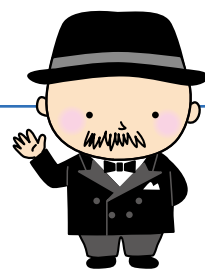
どんなことに取り組んできたの？

- 行政改革ってどんなことをしているの？
- 北茨城市では平成21年度から平成25年度までの5年間の計画を作って、行政改革に取り組んでいるんだ。平成21年度から平成24年度までの取り組みについて紹介するね。
- 【歳入の確保】**
- まずは歳入の確保から。何より大事なものは市税の収入だから、市税徴収率の向上に努めてきたよ。
- 市税徴収率ってなに？
- 入ってくるべき税金に対して、実際にはどのくらいの割合で税金が入ってくるかを示す数値なんだ。
- ふう～ん。北茨城市は低かったの？
- そうなんだ。県内でも最下位に近かったんだけど、最近では上がってきたんだよ。

市税徴収率の推移



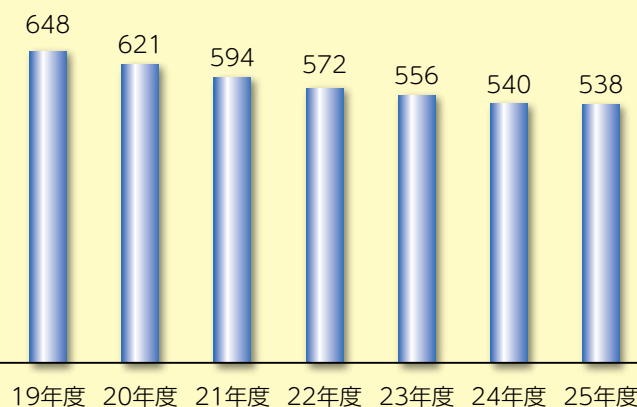
平成23年度、県内44市町村中41位だった徴収率は、平成24年度に27位まで浮上しました。それでも県内平均よりは低い徴収率となっていますが、もう少しで追いつくところまで来ています。









【職員数の見直し】

- 支出の削減では、市役所の職員の人数を大きく減らして人件費を削減したよ。
- グラフを見ると毎年結構な人数の職員が減っているね。
- 平成19年度と比較すると110人減っているね。行政改革では、平成21年度から25年度の5年間で72人削減する目標で取り組んできたんだけど、目標を上回る83人が削減されたんだ。
- じゃあすごく人件費が減ったんじゃない？
- 約5億8,500万円の削減ができたんだよ。
- すごい効果だね！

職員数の推移
(単位：人)



【その他の取り組み】

-  でもそんなに職員を減らしても大丈夫なの？
-  そこは仕事の効率化をしたり、民間会社でできることがあれば民間に任せたりしながらやりくりしているんだよ。
-  いろいろ頑張っているんだね。
-  さっきは市税徴収率の向上の取り組みと職員数の削減の話をしたから、それ以外の部分の主な取り組みを紹介するね。
-  こういう取り組みの成果があって新しい事業に取り掛かれるようになったんだね。
-  そうなんだ。それにこういった取り組みのおかげで市の貯金も増えたんだ。

北茨城市の行政改革の取り組みの詳細については北茨城市のホームページをご覧ください。

「北茨城市 行政改革」で検索↓

http://www.city-kitaibaraki.jp/modules/government/index.php?cat_id=21









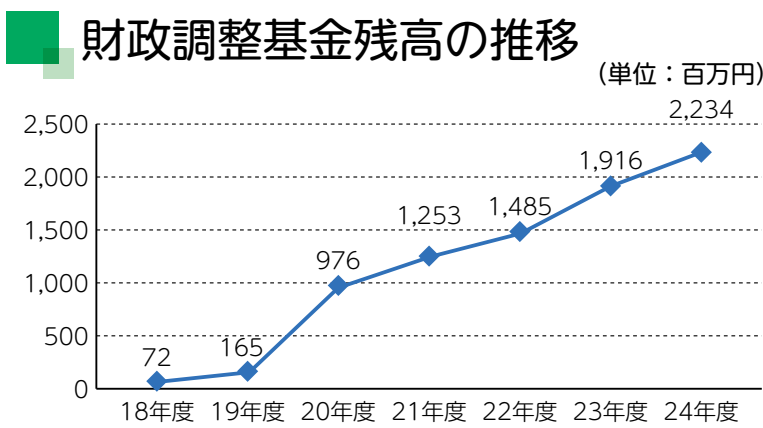
主な取り組みと効果額	
安定的な歳入の確保	
○ふるさと納税の推進	10,753千円
○有料広告事業の推進	5,432千円
○火葬場利用料金の見直し	17,384千円
経費の節減合理化	
○補助金等の見直し	1,740千円
定員管理及び給与の適正化	
○学校用務手のパート化の推進	14,400千円
○特殊勤務手当の適正化	20,004千円
行政ニーズへの的確な対応を可能とする組織機構	
○市立幼稚園の廃止	7,500千円

市にも貯金ってあるの？

市の貯金は「基金」と言って、目的ごとにいろいろな基金があるんだよ。

市の貯金はどれくらい？

-  市にはどんな種類の貯金があるの？
-  国際交流のために使うものや、地域の福祉のためのものなどがあるよ。
-  目的が決まっていて、何にでも使えるわけじゃないの？
-  「財政調整基金」というものがあるって、これは何に使ってもいい貯金なんだよ。思ったより収入が少なかったり、災害があって急にいっぱいお金を支払う必要が出た時などのために貯金しているんだ。
-  じゃあとっても大事な貯金だね。それは今どれくらいあるの？
-  最近の財政調整基金の残高の推移を見てみよう。



平成18年度に7千2百万円まで落ち込みましたが、収入の確保や支出の削減に努めた結果、22億3千4百万円まで増えました。

だいぶ増えたね！ 僕も頑張って貯金しよう！

今後の事業について



- 右にあるのは、現在ある程度計画が立っている今後の事業だよ。
- まだまだいっぱいやることがあるんだね！でもこんなにいろいろやって大丈夫…？
- さっき話したように、こういった事業をやるためにお金を借りても前ほど残高が増えることはないし、行政改革の取り組みのおかげでこういった事業に取り掛かるための蓄えもできたから大丈夫なんだよ。
- なるほどね。でもこれからもムダづかいをしないように気を付けないとね。
- そうだね。それに右の事業以外にもさっき話したような高齢者向けの事業や、人口減少に歯止めをかけるための取り組みもしていかなければならないし、これまで以上にムダづかいに気を付けたり、収入を増やす努力をしていかないとね。
- そっか～。なかなか大変そうだね。
- でもみんなが納めている税金だからね。大事に使わないとね。こうちゃんのおこづかいも同じだよ。ムダづかいしないようにね。
- は～い…



これからはどんな事業があるの？

- これまで市が頑張ってきた成果で今実施している事業はわかったけど、これからはどんな事業をやっていくの？
- 北茨城市にある施設は古くなっているものが多いから、施設を建て直していく必要があるよね。すでにとりかかっているものもあるけど、まだまだ建て替えの計画も立っていない施設も多いからね。
- 確かに古い建物が多いもんね。一気に建て替えようとすると大変だから、計画的に進めていかなきゃね。
- こうちゃんの言うとおりでね。それから今は「高齢化」と言ってお年寄りが多い社会になっているから、お年寄りのための事業も実施していかなきゃね。病気にならずに健康でいられるような取り組みに力を入れたりね。
- じゃあ、あんちゃんも健康に気をつけなくちゃね。
- こうちゃん…私はまだまだ若いから大丈夫だよ。
- でも若い人だって健康でいることは大事だよ。
- それもそうだね。

予定している主な事業

消防本部移転新築事業

施設の老朽化及び津波浸水想定区域に立地していることから、移転新築を行います。



消防本部

学校建設事業

適正配置、耐震、施設の老朽化対策といった観点から計画的に各小中学校の整備を実施します。



関本中学校

磯原地区公園テニスコート整備事業

平成31年に茨城県で開催される国民体育大会のソフトテニス会場を整備します。

北部運動広場整備事業

北部のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、施設の充実を図ります。



図書館

図書館建設事業

老朽化した施設を建て替え、生涯学習施設の拠点として整備します。

※平成25年度以前に着手し、「平成25年度の主な事業」に掲載した事業についても、今後本体工事等に取り掛かるものについては再掲しています。